

大田区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都大田区下丸子3-13-19ラ・カーサ プリマベール1F
施設名	カメラキッズ下丸子園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

英語で気持ちを伝え合う

〈テーマの設定理由〉

友だちや英語講師、保育者との関わりの中で、あいさつや簡単なやりとりを楽しむ姿が見られた。英語でのあいさつや表現を活動に取り入れることで、ことばを通して気持ちが伝わる楽しさを感じ、人と関わることの喜びを育むことをねらいとして、本テーマを設定した。

2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間で毎日実施。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

英語の歌や音楽教材・動物や身近な物のフラッシュカード・英語絵本・スピーカー・活動記録用のカメラ、記録用紙

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

登園や遊びの場面で英語のあいさつや簡単な言葉を取り入れ、気持ちを伝え合う経験を大切にしました。表情やジェスチャーと合わせて英語を使うことで、安心してやりとりを楽しめるようにしました。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

「Hello」の声かけに合わせて手を振ったり、声で応えようとする姿が見られた。「Bye-bye」をまねして手を振る姿もあり、やりとりの楽しさを感じながら関わろうとする様子がかがえた。また、子ども同士で手を振り合う姿も見られ、英語講師や保育者との関わりの中で経験したあいさつを、友だちとの関わりの中でも再現しようとする姿が見られた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

あいさつや簡単な言葉を使ったやりとりでは、子どもたちは友だちや英語講師、保育者と手を振ったり、声を出して応えたりする姿が見られた。ことばで気持ちを伝える楽しさを実感でき、安心して関われる環境の大切さを改めて感じた。今後も日常生活の中で英語でのコミュニケーションを大切にしたい。

大田区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都大田区下丸子3-13-19ラ・カーサ プリマベール1F
施設名	カメラキッズ下丸子園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

身の回りの物を活用したサーキット

〈テーマの設定理由〉

身の回りの物（ボール・フープ・ロープなど）を使った遊びを楽しむ姿が見られた。日常の物を使ったサーキット活動を通して、道具の扱い方を身につけ、遊びの幅を広げるとともに、主体的に活動に参加する姿勢を育むことをねらいとして、本テーマを設定した。

2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間・週1回程度実施

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

カラーテープ・マット・プールスティック・新聞紙・ボール・踏み台、段差ブロック・安全確認用マット・記録用カメラ・記録用紙

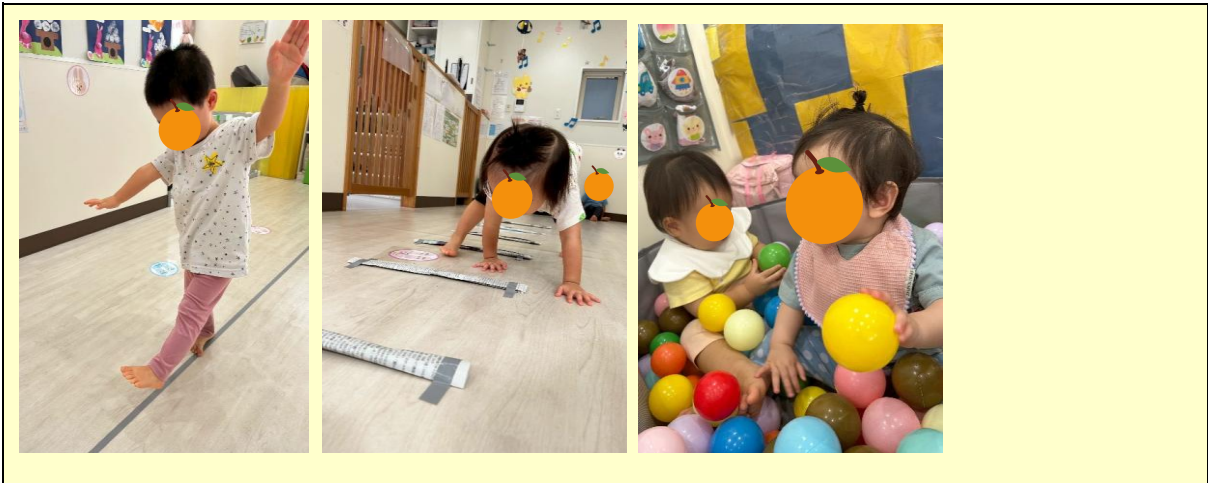
4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

布団や箱、ロープなど身近な物を使った障害物コースを設定し、くぐる・跳ぶなど多様な動きを取り入れた活動を行った。子どもたちは、講師や保育者の声かけに安心しながら自分のペースで挑戦し、「いけた」「もうっかい」と繰り返し取り組む姿が見られた。指差して進む順番を確認したり、友だちに声をかけたり手をつないで進もうとするなど、関わりを広げる様子も見られた。また、難しい場面では援助を求めながら再挑戦する姿もあり、楽しみながら意欲

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

友だちの様子を見ながら一緒に進もうとしたり、身振りや簡単な言葉でやりとりをしながら関わる姿が見られた。跳ぶ・くぐるなどの動きを自分なりに試し、繰り返し楽しむ様子も見られた。また、講師や保育者に見守られたり援助を受けたりしながら、安心して取り組む姿が見られた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

身近な物でも工夫次第で多様な動きや発想力を引き出せることに気づいた。子どもたちが主体的に取り組む姿が増え、遊びを通して想像力や表現力が育まれている様子も見られた。今後は、身近な素材や環境を活かしながら、子どもたちの主体的な活動や創造性をさらに引き出せる支援を意図的に行っていきたい。